

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	二宮町における津波防災まちづくり（防災・安全）								
計画の期間	平成28年度 ～ 平成28年度（1年間）	交付対象	二宮町						
計画の目標	大地震等の災害が発生した際に被害を最小限にとどめるため、災害危険区域や避難場所等を掲載した防災マップを作成し、全戸配布やホームページを活用することで、町民が災害時に安心して行動できるよう情報の共有化を図る。								
計画の成果目標（定量的指標）	災害が起きやすい地域や災害時に必要な情報を全町民に知っていただくため、住宅戸数ベースで防災マップ配布率100%を目指す。								
定量的指標の定義及び算定式	防災マップ配布率（%）＝防災マップ配布数（部）／町民の全住宅戸数11,500（戸）					定量的指標の現況値及び目標値		備考	
						当初現況値 (H28当初)	最終目標値 (H28末)		
						0%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2.7百万円	A	2.7百万円	B	-	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
二宮町防災安全課にて評価を実施	平成29年度
	公表の方法
	二宮町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
A-1	防災	一般	二宮町	直接	二宮町	都市防災総合推進事業	防災マップ作成 13,000部	二宮町						2.7	
合計													2.7		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況								
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・大地震等の災害発生に対する災害危険区域や避難場所等を掲載した防災マップ及び避難時の留意事項や事前の備えなどを示したガイドブックを作成、全戸配布するとともにホームページを活用することで、全町民が災害時に安心して行動できるよう情報の共有化を図ることができた。							
II 定量的指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>利便性向上による 放置自転車数の減</td> <td>最終目標値</td> <td>100%</td> <td rowspan="2">目標値と実績値 に差が出た要因</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終実績値</td> <td>100%</td> </tr> </table>	利便性向上による 放置自転車数の減	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		最終実績値	100%
利便性向上による 放置自転車数の減	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因					
	最終実績値	100%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	作成した防災マップやガイドブックによる訓練等の実施により、情報の共有化の加え、自助にとどまらず、地区自主防災組織（共助）等の取り組みなどに活用され、全町的な防災力向上の一助となっている。							

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も、マップやガイドブックの配布による情報共有のみではなく、活用について普及啓発を図っていく。

(参考図面) 市街地整備

